

作成年月日	令和2年4月20日
作成課室名	企画県民部 政策調整課

令和2年度 本庁部局・県民局・県民センターの重点目標

4月7日に緊急事態宣言が行われ、兵庫県全域が実施区域となる中、感染症防止と県民生活・県民経済の安定が急務となっている。

事態の一刻も早い終息に向け、業務を再点検して「選択と集中」を行い、新型コロナウイルス感染症対策を最優先に緊急事態措置を実施する。

一方、本県を取り巻く状況は、頻発・激甚化する自然災害や人口減少など解決すべき多くの課題を抱えている。

阪神・淡路大震災25年からの次なるステージとして、兵庫2030年の展望で描いた「すこやか兵庫」の実現に向け、各部局等の重点目標を設定する。

1 新型コロナウイルス感染症対策（最優先）

[当面の対策（主なもの）]

(1) 外出自粛要請

- ① 最低7割、極力8割の接触削減を実現するための外出自粛・通勤削減要請
- ② 「三つの密」（密閉・密集・密接）が重なるイベント等への参加自粛要請

(2) 医療体制の確保

- ① 入院体制の強化（4月末までに病床500床を確保）
- ② 無症状者や軽症者への対応（宿泊施設700室程度を確保）
- ③ 外来医療体制の確保（帰国者・接触者外来（42病院）のさらなる増加）
- ④ 医療用マスク・防護服等の確保

(3) 事業者への休業要請等（4月15日～5月6日）

- ① 遊興施設等への休業要請等
- ② 社会生活を継続するうえで必要な施設の事業継続
- ③ 在宅勤務（テレワーク）の一層の推進
- ④ 休業要請を行った事業者について、県・市町が協調して一定の経営継続資金を支給

(4) 事業活動への支援等

- ① 雇用の維持・企業の事業継続支援
- ② 中小企業への運転資金等支援
- ③ 農林水産物の需要喚起・事業継続支援
- ④ 生活に困っている世帯や個人への支給
- ⑤ 税制措置による支援

(5) 県庁内の対応

- ① 職員の在宅勤務の活用による出勤者の原則7割削減をめざす
- ② 職員の感染予防対策（時差出勤・フレックス制、50人以上の会議の原則自粛等）

2 令和2年度本庁部局・県民局・県民センターの重点目標

別添のとおり

※ 今後の新型コロナウイルス感染症の状況変化を踏まえて、柔軟に対応する

令和2年度 本庁部局・県民局・県民センターの重点目標

	(頁)
1 知事公室長	1
2 企画県民部	2
3 政策創生部長	3
4 県民生活部長	4
5 防災部局	5
6 健康福祉部	6
7 福祉部長	7
8 産業労働部	8
9 農政環境部	9
10 環境部長	10
11 県土整備部	11
12 まちづくり部長	12
13 企業庁	13
14 病院局	14
15 教育委員会	15
16 神戸県民センター	16
17 阪神南県民センター	17
18 阪神北県民局	18
19 東播磨県民局	19
20 北播磨県民局	20
21 中播磨県民センター	21
22 西播磨県民局	22
23 但馬県民局	23
24 丹波県民局	24
25 淡路県民局	25

令和2年度 知事公室長の重点目標

重点目標 1 戦略的広報の展開と県民との情報共有の推進

- 1 県の魅力を県内外に強力に発信するため、「兵庫五国連邦(U5H)プロジェクト」のさらなる展開や兵庫の魅力画像の提供等により、県民を巻き込んだ参画と協働型の新たな広報手法の確立を目指す。
- 2 タイムリーに県政情報を県民に届けるため、SNS、TV・ラジオ、県民だよりひょうご等、各種広報媒体の特性を生かした効果的な情報を発信する。
- 3 県庁全体の広報力の底上げを図るため、各種広報研修の実施やSNSの活用等研修内容の充実、「広報バイブル」の職員への配付など、職員の広報力を強化する。
- 4 県民の意見・提言を県政に反映するため、県民意識調査や県民モニター調査、さわやか提案箱など多様なチャンネルを通じ、県政と県民とのコミュニケーションの確立を図る。

重点目標 2 県民文化の創造

- 1 県民の積極的な参画（する・見る・支える）を通じた芸術文化の創造と普及を図るため、県民の活動支援、伝統文化の普及・伝承、芸術文化にふれるきっかけづくりに取り組むとともに、兵庫文化の魅力を県内外に積極的に発信する。
- 2 開館15周年を迎える芸術文化センターや陶芸美術館をはじめ、尼崎青少年創造劇場、横尾忠則現代美術館、原田の森ギャラリーにおいて、多彩な公演、企画展等を展開する。
- 3 横尾忠則現代美術館や兵庫県民会館アートギャラリー等の施設の整備・充実を行い、芸術文化の拠点としての機能向上を図る。
- 4 芸術文化立県“ひょうご”の実現を目指し策定した「芸術文化振興ビジョン」について、2030年を見据えた新たな課題や展開策を検討し、改定を進める。

令和2年度 企画県民部の重点目標

重点目標 1 行財政運営方針に基づく適切な行財政運営の推進等

- 1 「行財政の運営に関する条例」及び「兵庫県行財政運営方針」（取組期間：令和元年度～令和10年度）に基づき、フロー・ストック両面の財政運営の目標のもと、収支均衡の維持と将来負担の軽減を図るとともに、税収確保対策を進めるなど各分野の取組を着実に推進し、県民から信頼される行財政運営を進める。
- 2 AIやRPAなど先端ICT技術の活用や全庁的な事務改善の推進により、業務執行の簡素化・効率化を図る。
- 3 「兵庫県内部管理基本方針」に基づき、財務に関する事務の適正な管理及び執行の確保に取り組む。
- 4 県民・自治体職員等のマイナンバーカード取得促進に向け、積極的な周知広報を実施するとともに、市町との連携事業や県独自の利活用方策の検討等により、マイナンバーの利活用を促進する。

重点目標 2 県庁舎等の再整備の推進

- 1 令和元年度策定の基本構想を具体化する「県庁舎等再整備基本計画」を、有識者で構成する基本計画検討委員会や県議会の再整備協議会、パブリックコメントの意見等を踏まえて策定し、新庁舎の基本設計に着手する。
- 2 「兵庫県公共施設等総合管理計画」に基づき、姫路総合庁舎・西神戸庁舎の長寿命化改修を進めるとともに、公的施設の老朽化対策、東京職員公舎の建替整備を推進する。
- 3 「阪神南県民センター・阪神北県民局の統合方針」に基づき、統合後の阪神県民局の体制構築に着手し、伊丹庁舎敷地に新館等を整備するための基本設計・実施設計を行う。

重点目標 3 県庁働き方改革の推進と適正な公文書管理の推進

- 1 「兵庫県庁ワーク・ライフ・バランス取組宣言」に基づく超過勤務の縮減、子育て・介護と仕事の両立支援、働きやすい職場の実現に向けた取組を進めるとともに、新庁舎整備を見据えた執務環境・ワークスタイル変革を検討する。
- 2 政策形成能力向上に向けた研修等、職員の能力開発に取り組むとともに、キャリア形成を意識した人事配置や適切な人事評価を行い、能力・意欲ある職員を積極的に登用する。併せて、女性職員の登用・活躍促進に取り組む。
- 3 「公文書等の管理に関する条例」及び「公文書管理指針」に基づき、庁内における公文書ファイル管理簿の作成、職員の研修等により、適正な公文書管理を推進する。また、決裁手続・保存文書の電子化を推進する。

重点目標 4 兵庫県立大学への支援・専門職大学設立準備等の推進と私学教育の振興

- 1 大学院改革の推進、姫路工学キャンパスや医産学連携拠点の整備など、兵庫県立大学改革の取組等を支援するとともに、附属学校の校内ICT環境の整備や中学生入寮化等に向けた寮改修を行い、学習環境の充実を図る。
- 2 但馬地域において、芸術文化と観光の双方の視点を生かして地域の活力を創出する専門職業人を育成する専門職大学の設立を目指し、設置認可に向けた対応、実践的な教育内容の整備や入試準備を進めるとともに、学舎・学生寮の整備等を推進する。
- 3 県内大学や企業等と連携したりカレント教育の充実に向けた取組を推進する。
- 4 私立学校への経常費補助の充実や、県独自の授業料軽減補助の拡充等を通じて、私学教育の振興を図る。

重点目標 5 市町との連携強化・自立的運営への支援

- 1 市町との連携・協調を図るため、県・市町懇話会、兵庫県・神戸市調整会議等を開催し、意見交換・調整を行う。また、地域活性化施策に関する財源確保、公営企業を含む行財政運営の推進に対する支援、公務員制度の適切な運用に向けた助言、県から市町への権限移譲など、行財政運営全般の個別課題に対して、市町の取組を支援する。

重点目標 6 地方分権の推進

- 1 分権型社会の実現に向け、大括りの権限移譲や地方税財政の充実強化等について、全国知事会や近畿ブロック知事会、県地方六団体等と連携し、国等への働きかけを行う。
- 2 関西広域連合構成県として、第4期広域計画に基づき府県域を超える広域事務等に積極的に取り組むほか、国の事務・権限の移譲を進めるため、国出先機関や在関西政府機関との連携強化を図る。
- 3 県及び市町の独自規制等の見直しを推進するため、県規制改革推進会議において、新たな支障事例の掘り起こし及び規制の解消に向けた検討を引き続き行う。

令和2年度 政策創生部長の重点目標

重点目標 1 リーディングプロジェクトの推進と新しい将来ビジョンの検討

- 1 兵庫 2030 年の展望リーディングプロジェクトをプロジェクトチームを立ち上げて展開する。社会変化や技術進歩を踏まえて新たな施策も逐次取り込み、「成長するプロジェクト」として推進する。
- 2 2050 年の兵庫の姿を描く新たな将来ビジョンの検討を本格化させる。社会潮流の調査研究を進め将来構想試案をまとめるとともに、幅広い県民の参画を得ながら、新地域ビジョンの検討を進める。

重点目標 2 地域創生の新たな展開

- 1 「兵庫県地域創生戦略（2020～2024）」の実現に向け、地域ごとの元気づくりのため、8つの地域別プロジェクト・モデルの具体化を図る。また「若者の定着・環流」「女性の定着・環流」「外国人材の活躍推進」「関係・交流人口の創出」の4つの分野横断的な施策の展開を進める。
- 2 関係人口の拡大や地域間交流の促進を図るため、カムバックひょうごセンターを中心に、県内への移住を促進するとともに、大学や市町との連携による登録者の拡大や、アプリを通じた情報発信による「ひょうご e-県民制度」の充実を図る。

重点目標 3 活力と魅力ある地域づくりの展開

- 1 過疎化が進む地域の活性化や持続可能性の確保に向け、「ふるさと応援交流センター」を核に「県版地域おこし協力隊」や都市住民による集落支援活動の拡大を図り、地域再生大作戦を強力に進める。
- 2 全国最多の日本遺産など、本県の多様な地域資源を広域的に活用し地域活性化を図る。鳴門海峡の渦潮の世界遺産登録に向けた活動や、兵庫津ミュージアム（仮称）の整備を着実に推進する。

重点目標 4 産業利用に向けた科学技術基盤の活用と ICT・データ利活用の推進

- 1 「富岳」の共用開始を見据え、FOCUS スパコンの機能強化を図り、先端人材の集積を促進する。併せて、放射光とデータサイエンスの融合利用を図るため、県放射光研究センターの放射光利用支援体制を強化し、本県が強みを有する新素材分野等の研究開発を促進する。
- 2 ICTとデータの利活用促進により、イノベーションによる新たな価値の創出や、限られた人的資源で質の高い行政運営を実現するスマート県庁を推進する。また、兵庫県情報セキュリティクラウドの運用等により情報セキュリティの向上に取り組む。

令和2年度 県民生活部長の重点目標

重点目標 1 県民の参画と協働の推進と安全安心なくらしの実現

- 1 県民主体の地域づくり活動の更なる展開に向け県民生活審議会における提言の作成、「参画と協働の推進方策」の改定等を行う。生活創造センター・文化会館等拠点施設の着実な運営と但馬文教府「ふるさと交流館」開館等による機能強化に取り組む。また、県内7ヶ所で高齢者大学講座を提供するなど実践性の高い学習支援を展開するほか、ふれあいフェスティバル in 阪神北で県民活動の元気を発信する。
- 2 消費者被害の防止・救済機能の高度化・専門化、市町の相談対応力強化の支援に取り組むとともに、事業者等への監視・指導の強化を図る。また、「兵庫県消費者教育推進計画」改定を行うほか、消費生活情報の提供、団体・グループの活動支援を進める。
- 3 第5期地域安全まちづくり推進計画に基づき、子どもの安全安心確保事業や防犯カメラ設置補助事業などの支援等により、地域主体の安全で安心なまちづくり活動を推進する。併せて、「性被害ケアセンター『よりそい』」による支援など犯罪被害者等の支援の充実を図るとともに、国、市町など関係機関と連携し、出所者の就労・福祉支援など再犯防止対策を推進する。
- 4 第10次兵庫県交通安全計画等に基づき、「ストップ・ザ・交通事故」県民運動により、交通安全対策を推進する。また、高校生向け自転車教室、自転車保険の加入促進などの自転車安全対策に取り組むとともに、後付けペダル踏み間違い時安全装置の設置支援などの高齢運転者事故防止対策を推進する。さらに、次期計画(R3～R7)の策定に取り組む。

重点目標 2 女性活躍・家庭応援の推進と青少年の健全育成

- 1 「男女共同参画社会づくり条例」や「ひょうご男女いきいきプラン 2020」に基づき施策を推進するとともに、「第6次ひょうごアクション8」の庁内での推進に努める。また、ひょうご女性の活躍推進会議を核とし、企業における女性活躍を促進するとともに、次期「プラン」及び「ひょうごアクション8」の策定に取り組む。
- 2 家庭と子育て応援施策の充実を図るため、男性の家事・育児参画や地域祖父母モデル事業など、各般の施策を総合的に推進する。また、出会い支援事業については、スマートフォンを活用した婚活への対応による会員の利便性向上や、民間婚活事業者との連携等を図り、会員数及び成婚数の増加に向けた一層の取組を推進する。
- 3 青少年へのネット利用対策として、引き続きフィルタリングの利用促進やルールづくりの推進に取り組む。また、ひきこもり相談支援センターの運営やひきこもりサポーターの育成など支援策の充実を図る。

令和2年度 防災部局の重点目標

重点目標 1 主体的な住民避難行動の促進

- 1 県民一人ひとりの主体的な避難行動を促進するため、逃げ時や避難場所等を予め決めておく「マイ避難カード」の作成を全県に展開。また、新たな機能を盛り込んだ「ひょうご防災ネットアプリ」を運用
- 2 避難行動要支援者の避難を支援するため、県内市町において防災と福祉の連携による個別計画作成促進事業を実施し、実効性の高い個別支援計画の作成等を強化

重点目標 2 地域防災力の強化

- 1 広域防災センターの機能を拡充し、防災リーダーや自主防災組織など多様な防災人材の育成拠点とするため、宿泊施設を整備
- 2 企業の防災組織が行う消防団等との連携・協働への支援、企業等への消防団PR事業、女性消防団員活性化大会を実施
- 3 自主防災組織の活性化を図るため、自主防災活動を担うリーダーを育成するとともに、自主防災組織が行う訓練を支援

重点目標 3 実践的な防災訓練

- 1 市町、県民局等とも連携し、自然災害や危機事案を想定した災害対策本部や事務局の運営訓練、参集訓練など、実効性ある訓練を実施（通年）
- 2 市町や防災関係機関等と連携し、合同防災訓練を実施(9月)するとともに、南海トラフ地震及び日本海沿岸地域地震津波浸水想定区域(18市町)において、一斉避難訓練を実施(11月)

重点目標 4 「震災を風化させない」取組の推進

- 1 阪神・淡路大震災の教訓を伝えるとともに、次なる大災害に備え、「自分の命を守る行動力が身につく」防災教育ミュージアムを目指した、人と防災未来センターの展示改修を実施
- 2 阪神・淡路大震災の教訓等を踏まえた実践的な指針として、震災教訓冊子「活かす（仮称）」を作成
- 3 「ひょうご安全の日のつどい」や「減災活動の日」等の取組を継続実施
- 4 加入促進員による活動や制度創設15周年を契機とした広報の強化及びマンション管理会社等と連携した加入促進など、「住宅再建共済制度」普及のための新たな取組を展開

重点目標 5 広域防災対策の充実

- 1 平成30年に発生した豚熱や新型コロナウイルスへの対応等を踏まえ、関西防災・減災プラン（感染症対策編）を改訂し、広域的な危機管理体制の強化を推進
- 2 防災庁の創設に向けた国への提案活動やシンポジウム等の開催など、国や国民、関係機関等の理解を得るための情報発信を積極的に展開

令和2年度 健康福祉部の重点目標

重点目標 1 地域医療の確保

- 1 第7次兵庫県保健医療計画（平成30年度～令和5年度）について、基準病床数や、在宅医療の推進にかかる項目を中心として、中間見直しを実施する。
- 2 地域医療構想調整会議における地域の現状や将来像を踏まえた議論の活性化を支援するとともに、医療機関の再編統合、病床の機能集約を伴う病院整備や病床規模の適正化等、地域医療構想の実現に向けた取組を推進する。
- 3 「兵庫県医師確保計画」のもと、実効的な医師確保対策・地域偏在対策を推進するとともに、離職防止・再就業支援をはじめとした看護職員確保対策に取り組む。

重点目標 2 健康づくりと認知症施策の推進

- 1 特定健診の分析結果から地域課題が見える化した「健康づくり支援システム」の市町での活用を促進するとともに、特定健診・医療・介護データとAIを活用し、個人の将来の疾病や介護リスクを予測するシステム開発に取り組む。
- 2 大学における歯科健診の取組み支援や高齢者のオーラルフレイル健診のモデル実施など、ライフステージに応じた歯・口腔の健康づくりを推進する。
- 3 認知症予防健診実施市町の拡大等により、認知症の予防・早期発見を推進するとともに、認知症疾患医療センターの追加指定など、認知症医療体制の充実を図る。

重点目標 3 がん・感染症等の疾病対策と医薬品の安全対策の推進

- 1 「がん対策推進条例」のもと、がん予防や早期発見の推進、がん医療の充実、がんに関しても安心して暮らせる環境の整備など総合的ながん対策を推進する。
- 2 新型インフルエンザ発生に備えて住民接種の実施体制やワクチン供給体制の整備を支援する。
- 3 薬物療法の有効性・安全性の向上を図り、患者本位の医薬分業を実現するため、改正医薬品医療機器等法により新たに導入される「地域連携薬局」制度の周知徹底を図るなど、かかりつけ薬剤師・薬局の定着等を促進する。
- 4 「薬物の濫用の防止に関する条例」等に基づき、大麻等薬物の危険性に関する正しい知識の啓発強化に取り組む。

重点目標 4 生活衛生の確保対策の推進

- 1 食品衛生法改正を踏まえ、説明会やHACCP導入講習会の開催など、小規模事業者に対してHACCPの考え方を取り入れた衛生管理の導入支援に取り組むほか、「食の安全安心推進計画(第3次)」に基づき、食品の安全性・信頼性の確保に取り組む。
- 2 「動物愛護管理推進計画」及び「猫の適正管理普及推進のためのガイドライン」に基づき、動物愛護思想や適正飼養の普及啓発を推進するとともに、動物愛護センター龍野支所のリニューアルを行う（令和3年3月竣工予定）。
- 3 「兵庫県水道事業のあり方懇話会」からの提言等を踏まえ、水道事業の課題解決に向けた取組について、各地域と一体となって推進する。

令和2年度 福祉部長の重点目標

重点目標 1 社会福祉基盤の充実と地域福祉力の向上

- 1 社会福祉法人に対して効果的な指導監査を行うとともに、財務状況等に問題を抱える法人の経営破綻等の未然防止に取り組む。
- 2 第4期地域福祉支援計画に基づき、民生委員・児童委員活動の活性化を図るなど、包括的な相談支援体制構築に向けた取組を推進する。
- 3 終戦75年の節目を迎え、戦没者への追悼の誠をささげ、改めて恒久平和を祈念するとともに戦争の悲惨な体験を次世代に継承するため、終戦75年全国戦没学徒追悼式及び県戦没者追悼式を開催する。
- 4 人権尊重の理念について県民の理解を深めるため、「兵庫県人権教育及び啓発に関する総合推進指針」に基づき、部落差別や北朝鮮による拉致問題、インターネット上の人権侵害、性的少数者への偏見・差別など、多様化する人権課題に対応した啓発活動に取り組む。
- 5 国民健康保険の財政運営の責任主体として、その安定した運営に努めるとともに、保険料水準の統一方法等について市町と合意形成を図り、兵庫県国民健康保険運営方針を改定する。また、特定健診受診率向上対策など、市町の予防・健康づくりへの支援を進める。

重点目標 2 高齢者の安心確保

- 1 地域の実情・高齢者のニーズに応じた特別養護老人ホームの整備、定期巡回・随時対応サービスへの事業者参入、「サービス付き高齢者向け住宅」における特定施設入居者生活介護の指定拡大など介護基盤整備を促進する。
- 2 高齢者等の地域住民が介護施設等で補助的業務等に従事する「ひょうごケア・アシスタント（CA）推進事業」、中学校等への出前授業による「介護業務イメージアップ事業」、新任職員への士気高揚・定着に向けた福祉・介護職員合同入職式の開催、介護業務における労働環境改善・生産性向上の支援、外国人介護人材の受入環境整備等により介護人材確保対策を推進する。
- 3 介護予防・生活支援体制の強化・充実、多職種連携による専門的サービスの一体的提供に向けた在宅医療・介護連携の推進等に取り組む市町への支援を進め、介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられる体制の構築を図る。
- 4 2025年・2040年を見据えたサービス基盤、人的基盤の整備を見込むとともに、県保健医療計画との整合性を図り、「兵庫県老人福祉計画（第8期（R3～R5）介護保険事業支援計画）」を策定する。

重点目標 3 子ども・子育て支援の充実

- 1 「ひょうご子ども・子育て未来プラン(2020～2024)」のもと、安心して子育てできる兵庫の実現を目指し、若者世代への就労・結婚・子育て支援を充実させるなど、少子対策及び子育て支援の取組を推進する。
- 2 保育所や認定こども園等の整備・運営支援、保育人材の確保に取り組むとともに、ひょうご乳幼児教育・保育マイスター養成事業等各種研修事業や効果的な指導監査の実施により、保育の質の確保・向上を図る。さらに、幼児教育・保育の無償化や、保育料軽減事業の実施など子育て世帯の経済的負担を軽減する。
- 3 北播磨・阪神地域におけるこども家庭センターの新設や一時保護所のあり方検討等こども家庭センターや市町の相談機能体制強化、医療機関とのネットワーク構築に取り組むなど、関係機関が連携し、地域全体で虐待から子どもを守る体制の強化をめざす。また、「県社会的養育推進計画」に基づき、里親・特別養子縁組制度の推進など社会的養育の充実に向けた取組を行う。あわせて、「県DV防止・被害者保護計画」に沿った取組を引き続き推進する。

重点目標 4 ユニバーサル社会づくりと障害者のくらし支援

- 1 条例及び総合指針に基づき、オーディオブックの充実強化や手話通訳士・要約筆記者の養成講座の拡充など情報取得等の支援に取り組む。また、農福連携の推進等により障害者の就労促進・賃金向上を図る。障害者総合トレーニングセンター(仮称)の整備、原田の森ギャラリーでの芸術作品の常設展示など、障害者の多様な社会参加を促進する。さらに、企業等と連携し、福祉のまちづくり研究所の更なる研究開発力の強化を図る。
- 2 ひょうご障害者福祉計画等を改定するほか、兵庫モデル推進に向けた重度肢体不自由児者への訪問リハビリ自己負担料の一部助成の実施等、障害者への総合的な支援に取り組む。また、ひきこもり総合支援センターにおいて、ひきこもり者への医療・福祉面の相談・訪問支援から就労援助へのつなぎ等に取り組むとともに、居場所の拡充を促進するため担い手の養成等、ひきこもりの支援体制の構築を図る。
- 3 兵庫県自殺対策計画に基づき、一人ひとりがかけがえのない個人として尊重される「自殺のない社会」をめざして、市町や関係団体等と連携し、相談体制の充実や地域の相談支援ネットワークの構築、地域レベルの実践的取組を支援するなど自殺対策を総合的に推進する。

令和2年度 産業労働部の重点目標

重点目標 1 産業の育成

1 起業・創業の活性化

起業・創業の全県拠点施設である「起業プラザひょうご」や、併設誘致する UNOPS（国連プロジェクト・サービス機関）の GIC（グローバル・イノベーション・センター）を核としてスタートアップ企業の集積を図ることにより、持続的な起業家育成環境を創出。また、起業・創業の機運を全県に波及させるため、姫路市・尼崎市にエリア拠点を設置

2 次世代産業の育成

次代の県内産業を担うイノベーション創出に向け、成長産業分野別のコンソーシアムを構築し、研究開発に繋がるプロジェクトを推進。また、スマートものづくりセンター神戸の設置による中小企業への AI・IoT・ロボット技術導入支援や、官民連携によるドローンの利活用検証等を通じ、先端技術の活用による産業活性化を推進

3 産業立地の促進

産業活性化と雇用創出を図るため、「産業立地条例」の支援対象をほぼすべての業種に拡大し、幅広い企業の誘致を推進。また、国際経済地区への外国・外資系企業の立地を促し、国際経済拠点の形成を更に推進するため、オフィス賃料補助の拡充等を実施

4 地域を支える産業の振興

中小企業の事業承継や新事業展開等について、融資制度の充実などで支援するとともに、中小企業の経営力・技術力の強化を促進。また、魅力ある商店街づくりや地場産業の海外進出等を支援することにより、幅広く地域産業の活性化を推進

重点目標 2 人材の確保・育成

1 県内就職の促進 ～「ひょうごで働こう！プロジェクト」の展開～

UJI ターン就職の促進に向け、マッチングサイトを活用した大学生等への県内企業情報の発信とともに、スマホアプリを活用したプッシュ型の情報配信を実施。また、首都圏の女子学生を対象に、県内企業女性社員との交流会やワークショップを開催。県内学生の地元定着に向けては、インターンシップ事業の大学1・2年生への拡充や、大学生と企業のマッチング会を開催

2 多様な人材の就労促進

ライフスタイルや能力に応じた活躍を促進するため、シニア・ミドル世代の就労相談窓口を設置するとともに、外国人労働者の受入を支援するため、外国人雇用 HYOGO サポートデスクを設置するなど、ひょうご・しごと情報広場の機能を拡充。また、県独自のジョブコーチ制度の創設により、障害者の就労・職場定着を支援

重点目標 3 交流の促進

1 国際交流の推進

友好提携周年記念事業として、ブラジル・パラナ州、中国・海南省等へ友好交流団を派遣するほか、日露地域の姉妹都市交流年を祝した「日露交歓コンサート」を開催。また、外国人県民の増加を踏まえ、「ひょうご多文化共生社会推進指針」を改定するとともに、特に増加が顕著な地域において生活支援の効果検証に取り組むなど、地域国際化を推進

2 観光の振興

ひょうご観光本部との緊密な連携のもと、戦略的なマーケティングに基づいた周遊・体験型コンテンツの開発や多言語化等の受入環境整備、広域連携による周遊ルートづくり等を通じ、観光地の魅力向上に取り組む。さらに、多様な媒体を活用し重点市場へのプロモーションを強化することにより、国内外からの誘客を促進

令和2年度 農政環境部の重点目標

重点目標 1 ひょうご農林水産ビジョン2030の策定

- 1 昨年度から取り組んできた改定作業を着実に進め、令和2年度末にビジョン2030を策定
 - (1) 地域の経済・雇用を支える本県農林水産業の基幹産業化を引き続き推進
 - (2) TPP等のグローバル化が進展する一方、団塊世代の高齢化など農林水産業の担い手の急激な減少などの産業構造や社会情勢の変化への的確な対応
 - (3) 生産基盤である農地、海、森林などが将来にわたり持続的に維持される取組の展開等

重点目標 2 農林水産業のスマート化

- 1 地域や営農条件に合わせてICT、IoT、AI、ロボット技術、ドローン等を駆使したスマート農業の展開
 - (1) 兵庫型スマート農業技術導入による競争力強化
(現場検診・新技術導入経営モデルの作成、スマート農業機械の実演会・研修会の開催)
- 2 ICT等を活用したスマート林業、スマート水産業の展開
 - (1) 森林整備のリモートセンシング技術者の育成、AIによる乾ノリ検査自動化の技術開発等

重点目標 3 次代の農業構造の創造

- 1 法人化や経営多角化への支援、基幹的地域農業法人の育成等による次代の担い手の確保
 - (1) 法人化や規模拡大に取り組む経営体への共同利用農業機械・施設の整備支援、新技術・品種導入の実証への支援、経営・労務管理業務に知見を有する人材雇用の支援等
 - (2) 集落間調整や経営計画の策定等を継続的に支援する特命チームの設置
 - (3) トイレや休憩室等の設置など、法人経営体の労働環境改善への支援による雇用就農の促進
- 2 小規模農家の放棄田防止や営農継続を含め、農地の集積・集約化に向けた取組の強化
 - (1) 農業施設貸与事業の拡充(定年帰農者等を対象に追加)、地域農地管理事業の拡充(条件不利農地や分散農地の長期活用を支援)、小規模農家の農作業委託の推進、地域ぐるみでの農地活用の推進(「いきいき農地バンク方式」の普及拡大)

重点目標 4 但馬牛・神戸ビーフをはじめとする兵庫ブランドの育成強化

- 1 神戸ビーフの輸出・流通の拡大に向けた情報発信や供給体制の強化
 - (1) 国内外プロモーションの実施(イベント出展、指定登録店での神戸ビーフPR実施等)
 - (2) 畜産参入支援センターによる法人参入支援、牛舎整備や繁殖雌牛導入への支援等
- 2 認証食品の情報発信の強化、新たな輸出品目の開拓強化
 - (1) 認証食品の2つのロゴマークの統一、認証食品ストリートの開催等
 - (2) マレーシアなど成長市場へのプロモーション(消費者向けテスト販売の支援等)

重点目標 5 木材の有効利用と森林資源の活用・保全

- 1 主伐・再造林の推進
 - (1) 主伐・再造林の一貫施業やコンテナ苗の活用等によるコスト低減の地域実証を推進
 - (2) 高精度な地形情報など詳細な森林資源情報の活用・共有による施業の効率化
- 2 森林環境譲与税を活用した森林整備や木材利用の推進
 - (1) 「ひょうご森づくりサポートセンター」を核とした市町への技術支援、みどり公社において市町から森林経営管理法にかかる業務を受託する体制の整備等

重点目標 6 豊かで美しい海の再生と水産業・浜の活性化

- 1 “豊かな海再生種苗”の量産化などつくり育てる漁業の推進
 - (1) 漁場環境を改善するハマ、アシアヒビ等の種苗の量産化、海底耕うんの拡大への支援
 - (2) 栄養塩と動物プランクトンの関係性を解明するための調査の実施
- 2 全国豊かな海づくり大会(R3年度)に向けた1年前イベント、大会記念リリース放流等の実施

重点目標 7 災害に強い農山漁村整備の促進

- 1 「第2次ため池整備5箇年計画」、「第3次山地防災・土砂災害対策計画」、「災害に強い森づくり第3期対策」、「津波防災インフラ整備計画」等に基づく防災対策の着実な推進

重点目標 8 楽農生活の全県展開

- 1 地域楽農生活センターの開設支援(栽培講座等を実施する市町やJAの取組を支援)

令和2年度 環境部長の重点目標

重点目標 1 「低炭素」～CO₂排出削減をさらに進め「脱炭素」に向け地球温暖化対策を強化する～

- 1 兵庫県地球温暖化対策推進計画の削減目標の強化
 - 温室効果ガス削減目標(2030年度に2013年度比26.5%削減)の達成に向け、条例・要綱に基づく事業者指導、水素モビリティの普及、適応策の推進等、温暖化対策を着実に実施
 - 脱炭素社会を見据えた温室効果ガス削減目標の見直し、推進計画の取組の強化、長期的な削減目標の検討を実施
- 2 地域循環共生圏の創出～再生可能エネルギーの導入拡大～
 - 地域団体の事業立上げ時の取組への補助、中小事業所・家庭での屋根置き太陽光発電設備や蓄電池の設置等を支援、従来の使用電力を100%再エネに転換するRE100の推進

重点目標 2 「自然共生」～人と動植物が共存し豊かな自然を守り育てる～

- 1 野生鳥獣による被害防止総合対策の推進
 - 集落における被害対策の体制を整備する鳥獣被害集落ローラー作戦を展開
 - シカ4.6万頭、イノシシ2.5万頭の捕獲達成に向け、被害が大きい地域等での捕獲を強化
 - 捕獲圧の維持、人材育成を図るため兵庫県立総合射撃場(仮称)の整備を推進
- 2 生物多様性保全の総合的推進
 - 生物多様性ひょうご戦略に基づき、事業者、団体・NPO、行政等の保全・再生活動を推進
 - 捕獲わなの充実強化等により、アライグマ・ヌートリア対策を推進
- 3 豊かで美しい里海としての瀬戸内海の再生
 - 窒素・リンの望ましい海域濃度の達成に向け、①下水処理場での季節別運転の継続・拡大、②工場・事業場での栄養塩供給の取組、③農地・山林等からの栄養塩供給の検討を推進
 - 藻場・干潟の浅場の再生・創出、海底耕うんによる海底改善等、沿岸域の環境保全を推進

重点目標 3 「資源循環」～ものを大切に、天然資源の使用をできる限り少なくする～

- 1 廃棄物の発生抑制と再利用・再生利用による資源循環の推進
 - プラスチックごみ削減に向け、3Rの徹底を基本としつつ、ワンウェイプラスチックの削減、地域でのペットボトル回収、代替素材への転換等の取組を強化
 - 家庭で余っている食品をごみにせず、それを必要とする福祉団体等にスーパー等を通じて寄附するフードドライブを全県展開
- 2 海ごみ対策の推進
 - ①流域圏での発生源対策の徹底、②漂着・漂流・海底ごみの回収・処理、③プラスチックごみ対策の強化等、海ごみの着実な回収・処理との排出抑制・リサイクルを推進

重点目標 4 「安全・快適」～水や空気のきれいな安全・快適空間をつくる～

- 1 水素モビリティの普及
 - 水素ステーションの整備費補助を行うとともに、燃料電池自動車(FCV)や燃料電池バス(FCバス)の導入を促進
- 2 大気環境の保全
 - アスベスト含有建築物の解体工事等の届出審査・監視を行うとともに、法の周知を徹底
 - PM2.5の常時監視・成分分析を行うとともに、総合的な解析を実施
- 3 環境影響評価(アセス)制度の強化
 - 太陽電池発電所の新設・増設について、法・条例に基づく審査を徹底するとともに、森林伐採等を伴う小規模事業について、指針に基づく自然環境調査を指導

重点目標 5 「地域力」～あらゆる主体が地域の特性を生かして環境保全・創造に向けて協働する～

- 1 環境学習・教育の総合的推進
 - 専門人材の育成、体験プログラムの提供等により、県内全ての幼児が一定の専門性を踏まえた環境体験を継続的にできる体制を構築
 - 企画段階からの若者の参画のもと、「ひょうごユースecoフォーラム」を開催するとともに、ひょうご環境体験館をリニューアルし、環境保全・創造活動を活性化

令和2年度 県土整備部の重点目標

重点目標 1 自然災害に備える防災・減災対策の強化 ～備える～

- 1 南海トラフ地震等に備える地震・津波対策の推進
 - ① 「津波防災インフラ整備計画(H26～R5)」、「日本海津波防災インフラ整備計画(R1～R10)」に基づく、着実な津波対策の推進(防潮水門・湾口防波堤の整備、防潮堤の沈下対策等)
 - ② 「ひょうご道路防災推進10箇年計画(R1～R10)」の推進(橋梁耐震化、法面防災対策)
 - ③ 「地域の防災道路強靱化プラン(H26～R5)」に基づく緊急輸送道路等の整備・強化の推進
 - ④ 下水道施設の耐震強化の推進(武庫川下流流域下水道等)
- 2 頻発する風水害に備える総合的な治水対策の推進
 - ① 「河川対策アクションプログラム(R2～R10)」に基づく事前防災対策の推進(河川改修等の推進、既存ダムの有効活用、中上流部対策、超過洪水に備えた堤防強化、堆積土砂撤去)
 - ② 「兵庫県高潮対策10箇年計画(R1～R10)」に基づく、防潮堤嵩上げ等の高潮対策を推進(南芦屋浜地区等の緊急対策はR3年度完了予定)
- 3 土砂災害対策の推進
「第3次山地防災・土砂災害対策計画(H30～R5)」に基づく砂防堰堤等の整備推進、河川上流部の土砂・洪水氾濫対策の推進、砂防堰堤背後の堆積土砂撤去の推進等
- 4 減災のための情報発信の推進
想定最大規模の浸水想定区域図(洪水、高潮)等の作成、土砂災害特別警戒区域の指定推進等

重点目標 2 日常生活や地域を支える社会基盤の充実 ～支える～

- 1 地域の交流や日々の暮らし、都市の活力を支える道路整備の推進
 - ① 地域の交流を支える道路整備の推進(南北道路等の幹線道路、生活道路等)
 - ② 安心・快適な都市基盤整備の推進(街路事業、連続立体交差事業)
 - ③ 「渋滞交差点解消プログラム(R1～R5)」、「踏切すっきり安心プラン(R1～R5)」に基づく渋滞交差点、問題踏切の解消に向けた取組推進
 - ④ 歩行者・自転車の快適な通行空間の確保(ひょうごサイクリングモデルートの自転車走行環境整備(アライチ等)、「通学路安全対策5箇年計画(R1～R5)」、「自転車通行空間整備5箇年計画(R1～R5)」)
- 2 公共交通の維持・活性化(ひょうご公共交通10カ年計画の推進)
鉄道・バスの利便性向上・利用促進(MaaSの導入促進、但馬地域公共交通網形成計画の策定等)

重点目標 3 次世代につなぐ社会基盤の形成 ～つなぐ～

- 1 基幹道路ネットワークの充実強化
 - ① 基幹道路の整備推進(「ひょうご基幹道路ネットワーク整備基本計画(R1～R32)」)
 - ・事業推進(大阪湾岸道路西伸部、神戸西バイパス、中国横断自動車道姫路鳥取線、東播磨道、東播丹波連絡道路、山陰近畿自動車道、北近畿豊岡自動車道)
 - ・早期事業化に向けた取組(名神湾岸連絡線、播磨臨海地域道路、東播丹波連絡道路)
 - ② 高速道路の有効活用(大鳴門橋への自転車道設置に向けた取組推進等)
- 2 港湾の機能強化・利用促進
 - ① 港湾の機能強化(姫路港、尼崎西宮芦屋港、東播磨港等)
 - ② 港湾の利用促進(姫路港旅客ターミナルエリアのリニューアル等)
- 3 空港の有効活用・利便性向上
 - ① 関西3空港の最大活用
 - ② 但馬空港の利便性向上(滑走路延長の可否を含めた今後のあり方検討)
- 4 計画的・効率的な老朽化対策の推進
「ひょうごインフラ・メンテナンス10箇年計画(R1～R10)」に基づく着実な施設点検、修繕・更新の実施
- 5 都市の環境改善
「兵庫県無電柱化推進計画(R1～R5)」に基づく無電柱化の推進

重点目標 4 時代の変化に対応した推進方策

- 1 建設企業等の健全育成
 - ① 建設業若年者入職促進・人材育成事業の実施(定時制高校生等入職促進事業等)
 - ② 「兵庫県建設業育成魅力アップ協議会」による取組の推進(技術者や技能者の活躍等を新聞紙面で紹介等)
 - ③ ICT(情報通信技術)の活用(測量・設計の3次元化の実施等)
- 2 社会基盤に対する県民理解の促進
インフラツーリズムの推進(WEBサイトで魅力を発信等)

令和2年度 まちづくり部長の重点目標

重点目標 1 安全・安心

1 安全に暮らせるまちづくり

- ① 兵庫県耐震改修促進計画の中間検証
- ② 住宅の耐震化の促進（ひょうご住まいの耐震化促進事業等の実施、市町実施の意識啓発への支援）
- ③ 多数利用建築物の耐震化の促進
（大規模多数利用建築物の耐震化の促進、中・小規模多数利用建築物への補助制度の活用促進）

2 安心して暮らせるまちづくり

- ① 福祉のまちづくりの推進（福祉のまちづくり基本方針の改定、鉄道駅舎のエレベーター設置支援等）
- ② 住宅確保要配慮者向け賃貸住宅の供給促進（登録、入居支援）

3 適切な県営住宅整備・管理の推進

- ① ひょうご県営住宅整備・管理計画の改定
- ② 社会の動向に対応した整備・管理（建替事業等の計画的な実施や三代優先入居・県外からの移住等）
- ③ 県・市連携による公営住宅管理業務の一元化や建替事業実施に向けた検討

重点目標 2 環境との共生

1 県立都市公園の利活用の取組

- ① リノベーション計画の策定及び老朽化対策の推進
- ② 民間活力による公園の活性化（淡路島公園ニジゲンノモリの運営支援等）
- ③ 有馬富士公園「地球アトリエ」構想の推進

2 自然環境と調和するまちづくり

- ① 都市緑化の推進（県民まちなみ緑化事業のあり方検討（第4期）、ひょうご花緑創造プランの中間評価）
- ② 淡路花博20周年記念 花みどりフェアの開催
- ③ 淡路景観園芸学校新展開の実施（国際交流の推進、国際セミナーの開催）
- ④ 太陽光発電施設等の設置の適正化

重点目標 3 魅力と活力

1 地域の活力を生み出すまちづくり

- ① 地域特性を活かした都市計画の推進（都市計画区域マスタープラン等の改定）
- ② 弾力的な土地利用の推進（市街化調整区域等における土地利用調整の円滑化・迅速化）
- ③ 市街地整備の推進（神戸三宮雲井通5丁目地区、英賀保駅周辺地区等）
- ④ 三宮駅周辺の再整備の推進（「えきまち空間」基本計画等の早期実現に向けた神戸市との連携）
- ⑤ 商店街の活性化とまちの再整備の総合的推進
（商業者と地域住民等によるまちの再編・再整備の取組を支援）

2 地域の魅力を活用したまちづくり

- ① 既存住宅の流通促進（インスペクションの実施支援・普及啓発、古民家再生の促進）
- ② 優れた景観の創造・保全（景観形成重要建造物等の指定）
- ③ 六甲山遊休施設の利活用等への支援（遊休施設等の改修・建替及び新設費用への補助）

3 快適な住まいづくり

- ① 住生活の安定の確保・向上の促進（住生活基本計画の改定に向けた検討）
- ② 空き家対策の総合的推進（空き家の発生予防、利活用、除却を含めた適正管理など総合的な空き家対策）

重点目標 4 自立と連携

1 交流と連携によるまちづくり

- ① オールドニュータウンの再生（ニュータウン再生ガイドラインの普及啓発、再生支援事業の活用）
- ② 明舞団地の更なる魅力向上（分譲マンション再生支援等）

2 地域の自立に向けたまちづくりへの支援

- ① 人間サイズのまちづくり賞の実施
- ② リノベーションまちづくりの推進（実践的な事業を生み出す「リノベーションスクール」開催支援等）

令和2年度 企業庁の重点目標

重点目標 1 産業用地、住宅用地の戦略的分譲推進

- 1 戦略的な分譲推進
公営企業として産業用地、住宅用地を戦略的に分譲
産業用地：播磨科学公園都市、淡路津名地区、ひょうご小野産業団地
住宅用地：神戸三田国際公園都市(三田カルチャータウン)、潮芦屋、播磨科学公園都市
- 2 魅力あるまちづくり等
 - (1) 播磨科学公園都市
都市内の交通結節点となるバスターミナルの整備、科学のまちにふさわしい自動運転・ドローン活用の実証を実施
 - (2) 潮芦屋
災害に強いまちづくりのため、企業庁管理護岸をかさ上げ
- 3 新たな取組
A I ・ I o Tの活用基盤を備えた次世代型産業団地の整備に向けた適地検討調査を実施

重点目標 2 安全・安心な水道・工水の安定的供給

- 1 水道用水供給事業
 - (1) 料金収入の確保と経営効率化による健全経営の維持
 - (2) アセットマネジメント推進計画に基づく定期的な施設の点検・診断・修繕により適正に水道施設を維持
 - (3) 渇水等の断水対策として浄水場間の連絡管を整備し、安定的に水道水を市町等へ供給
- 2 工業用水道事業
 - (1) 播磨工業地帯の工業用水の需要に対応するため、工業用水を安定的に供給
 - (2) 新規企業の開拓、契約水量の増量に努め、料金収入を確保

重点目標 3 地域創生への貢献

- 1 北淡路地区の振興
ウェスティンホテル淡路を中心とした淡路夢舞台、淡路ワールドパークONOKORO、野島断層保存館の運営等を通じ、北淡路地区の振興に貢献
- 2 青野運動公苑の運営
アオノゴルフコース、アオノテニスクラブ等の運営により県民の健康増進に貢献
- 3 県立鈴蘭台西高校跡地の活用
民間事業者を活用した健康福祉施設の誘致
- 4 S D G s の取組
メガソーラーによる発電など企業庁施策を展開することにより、S D G s の目標達成に率先して努力

令和2年度 病院局の重点目標

重点目標 1 より良質な医療の提供

高度専門・特殊医療を中心とした政策医療をより効果的かつ効率的に提供するため、がんゲノム医療拠点病院であるがんセンター、連携病院であるこども病院において積極的にがんゲノム医療を提供するなど、診療機能の高度化を図る。

また、AYA世代に対する保険適用となっていない陽子線治療費の減免に加え、全世代を対象とした貸付制度の所得制限撤廃など、粒子線治療への支援を充実する。

重点目標 2 統合再編・建替整備の更なる推進

姫路循環器病センターと製鉄記念広畑病院を統合再編して整備するはりま姫路総合医療センター（仮称）について、令和4年度上期の開院を目指し、建設工事を推進する。

また、「兵庫県立西宮病院と西宮市立中央病院の統合再編基本計画」に基づき、統合新病院の整備に向け基本設計に着手する。

さらに、がんセンターについては、合併症患者対策に係る総合病院等との連携方策を検討する委員会を設置し、そこでの意見等を踏まえ、建替整備に向けた基本計画を策定する。

重点目標 3 安心できる県立病院の実現

医療資源を有効に活用し、効果的かつ効率的に医療サービスを提供するため、こども病院と地域の中核病院との間でオンライン診療に取り組むなど、県立病院間及び他の医療機関との連携を強化するとともに、医療機能の分化、必要な診療機能の見直し等にも取り組んでいく。

また、医療安全対策をなお一層推進するとともに、インフォームド・コンセントの充実等、医療の信頼性の向上を図る。

さらに、様々なメディアを活用した分かりやすい情報発信を積極的に実施し、県立病院の診療機能や役割等の周知を図るとともに、患者の負担軽減、早期退院の促進に向けた入退院支援機能の充実にも取り組んでいく。

重点目標 4 持続可能な経営の確保

会計年度任用職員制度の導入に伴う給与費の増や薬品費・診療材料費の増などにより経常収支の悪化が見込まれるが、病院個々の課題を的確に分析・把握して対策を講じることに加え、収益の確保、費用の抑制に努め、病院局、県立病院が一体となって経営改善に取り組む。

収益面では、設備やスタッフなど高度専門医療に係る機能を十分に活用すること等により患者の受入促進に努めるとともに、入退院支援センターの充実やクリニカルパスの見直しにより平均在院日数の適正化を図るなど、診療機能に見合う収益を確保する。

費用面では、高度専門医療に必要な薬品や診療材料等の低廉な価格での購入や、後発医薬品の使用拡大、業務委託の見直し等を行い、費用の抑制に取り組む。

重点目標 5 安定した医療提供体制の確立

医療機能の高度化・専門分化や、新病院の機能充実等を図る観点から、課題に応じた組織の見直しや職員の適正配置を行う。

また、県立病院群のスケールメリットを活かした研修制度の充実による多様な医師確保対策を推進するとともに、看護師確保対策では、地域偏在対策や新病院整備に伴う増員に対応するための修学資金制度の拡充など、安定的な看護師確保に努める。

また、医療を取り巻く環境変化に迅速かつ的確に対応し、求められる専門性を備えた職種・人員の確保策を検討するとともに、「働き方改革」の実現に向け、長時間労働の是正や休暇の取得促進、ワークライフバランスへの配慮など、働きやすい職場環境づくりに取り組む。

令和2年度 教育委員会の重点目標

重点目標 1 新学習指導要領の本格実施を踏まえた教育の展開

- 1 小・中学校9年間を見据えた取組みの推進
学力向上対策を推進するとともに、特にすべての小学校教員がプログラミングの授業を実施できるようにするため、モデルカリキュラム指導案、授業解説、教材メニュー、校内研修資料をセットした「スタートパック」を構築する。
- 2 生徒の多様なニーズに対応した県立学校の新たな魅力づくり
 - (1) 問題解決力や創造力を備えた人材を育成する「STEAM教育」を推進するため、モデル校を指定しカリキュラムの検討等を行う。
 - (2) 今後の生徒数の動向等を考慮しつつ、高等学校教育の更なる充実を図るため、県立高等学校の望ましい規模と配置のあり方について検討する。
- 3 「Society5.0」等を見据えた学習環境の整備
 - (1) 新しい学習基盤づくりを推進するため、無線LAN、生徒用タブレットPC、大型提示装置等の各種ICT機器の整備を実施する。
 - (2) 知的障害特別支援学校在籍児童生徒の増加に対応するため、阪神北地域での特別支援学校の新設を推進する。

重点目標 2 ゴールデンスポーツイヤーズに相応しいスポーツの振興

- 1 100年を通じて親しむ生涯スポーツの振興
2021年のワールドマスターズゲームズ関西の開催に向け、「1年前イベント及び兵庫県開催競技リハーサル大会」、「関西シニアマスターズ大会兵庫大会」等を実施し、生涯スポーツの機運を高める。
- 2 競技スポーツの振興
東京オリンピック・パラリンピック関連の推進

重点目標 3 地域の活性化につながる社会教育の推進

- 1 社会教育施設の魅力・利便性の向上
 - (1) 人と自然の博物館を新たな「知と賑わいの拠点」とするため、収蔵庫に展示ギャラリーや標本制作室などを併設したコレクションナリウムを同館に整備する。
 - (2) 旧颯川美術館を改修整備し、県立美術館西宮分館としてリニューアルオープンする。

重点目標 4 働きがいのある職場・学校づくりの推進

- 1 総業務量の適切な管理と抑制
 - (1) 教職員の業務量を管理抑制するため、教育委員会規則で業務量の上限を規定し、令和元年度と比較し授業以外の業務量の1割を削減する。
 - (2) 県立学校教員等の長時間勤務の縮減のため、授業準備等を担う地域人材を配置する。
- 2 風通しの良い職場づくり
教職員間のハラスメントのない職場にするため、ハラスメント対策本部の設置、相談窓口の周知、防止指針の改定及び職員研修の充実を図る。

令和2年度 神戸県民センターの重点目標

重点目標 1 神戸の魅力を活かした賑わいづくり

豊かな歴史と文化、美しい自然、地域遺産など神戸が持つ魅力を活かし、地域と連携しつつ、賑わいづくりを進める。

- 1 「ミュージアムロード&HAT」アートプロジェクトの推進（新たなシンボル作品の設置等）
- 2 六甲山ツーリズム推進プロジェクトの取組（「六甲山自然体験ツアー」の供用・PR等）
- 3 神戸西部3都（新開地・兵庫津・新長田）の魅力発信（3都を巡る1dayウォークイベントの開催等）
- 4 神戸新開地・喜楽館を核とした地域の賑わい創出（女性や外国人向け体験事業の実施等）
- 5 湊川隧道の保存・活用に向けた取組（地元企業との連携による日本酒貯蔵の実施等）
- 6 行政と地域の連携による新長田のまちの活性化（合同庁舎開設1周年記念イベントの開催等）
- 7 有馬川親水広場のリニューアルと有馬の活性化（親水広場完成イベントの開催等）
- 8 明石海峡大橋・県立舞子公園を活用した映画上映会の開催

重点目標 2 農都・神戸の推進

都市と「農」が隣接する強みを活かし、農産物等の新たなブランド化を進めるとともに、外国人観光客向けサービスの向上に取り組むなど、地域の活性化と農業の生産振興を図る。

- 1 「農都・神戸フェア（仮称）」の開催（神戸産農産物のブランド化の取組の発信や直売）
- 2 農の神戸ブランド創出作戦の推進（神戸産りんご、有馬山椒、神戸産トマト等の生産拡大や加工品の開発）
- 3 神戸アグリインバウンド対策の推進（外国人観光客向け農村体験モデルツアーの企画等）

重点目標 3 安全・安心な地域づくり

近年頻発している集中豪雨など自然災害に備える取組を進めるとともに、地域での見守りの強化や鳥獣被害対策に取り組むなど、安全・安心な地域づくりを進める。

- 1 自然災害に備える取組の推進（土砂災害特別警戒区域の指定、河川における安全対策等）
- 2 安全・安心を守る地域住民活動の推進（地域防犯活動の支援等）
- 3 六甲山イノシシ被害対策の推進（防護・捕獲・普及啓発を柱とする総合的な対策の実施）

重点目標 4 対話と協働による地域づくり

神戸市民と直接意見交換することを通じて、市民の声を県政に反映するとともに、神戸地域ビジョンを推進するなど、県政への参画を一層進める。

- 1 神戸市民と語る集いの開催（自治会、婦人会、老人クラブ、神戸青年会議所）
- 2 県政懇話会の開催（各区地域団体等のリーダーとの意見交換）
- 3 神戸地域ビジョン委員会の活動支援や新地域ビジョンの検討

令和2年度 阪神南県民センターの重点目標

重点目標 1 活力と魅力あふれる阪神南の実現

阪神間モダニズムに代表される多様な芸術文化や地域資源を生かして、地域の交流とにぎわいを創出するとともに、ものづくり産業の振興、若者の創業支援を推進

- 1 阪神間モダニズム～「具体美術」～再発見プロジェクトの推進
 - (1) 阪神間モダニズム～「具体美術」～再発見プロジェクト基本構想の検討
 - (2) 阪神アートVRミュージアムの構築
 - (3) 阪神間モダニズムセミナーの開催
 - (4) 阪神南ゆかりの芸術公演等の鑑賞促進
 - (5) 阪神間モダニズム文化を活用した地域の魅力再発見事業
(ぐるっとツアー、オープンミュージアムの実施)
- 2 交流の拡大及びにぎわいの創出
 - (1) あにあん倶楽部プロモーション事業(スマートフォン用 Web サイトの作成)
 - (2) 阪神南ふれあいスポーツフェスタの開催(WMG2021 関西 PR (水球エキシビジョンマッチ))
- 3 ものづくり産業等の振興
 - (1) 阪神南リーディングテクノロジー実用化支援事業(ロボットシステム等導入支援)
 - (2) 若者向け創業出前講座等開催事業(大学、創業支援機関との連携強化)

重点目標 2 環境と調和した快適な阪神南の実現

自転車まちづくりを推進するとともに、尼崎 21 世紀の森の利活用を図るイベントの開催など、快適で暮らしやすい環境づくりを促進

- 1 自転車まちづくりの推進(サイクリングモデルルート環境整備事業)
- 2 尼崎 21 世紀の森づくりの推進(東京五輪アスリート地域魅力発信事業)

重点目標 3 安全で安心な阪神南の実現

防災・減災対策やくらしの安全・安心対策に取り組むとともに、子育て支援、医療・福祉体制を充実

- 1 地震・津波等総合防災対策の推進(H30 台風第 21 号による被災を踏まえた緊急対策)
- 2 阪神南圏域感染症ネットワーク会議の設置(圏域内病院との連携強化)
- 3 青少年文化・スポーツ体験事業の実施 (アイススケート教室、親子演劇鑑賞体験)

令和2年度 阪神北県民局の重点目標

重点目標 1 歴史・文化・芸術が息づく「まち」の創出

歴史・文化・芸術を生かした新しいライフスタイルが実現できる「まち」の創出や交流人口の拡大に取り組む。

- 1 阪神間モダニズムが息づくまちづくり
 - ・阪神間モダニズム～「具体美術」～再発見プロジェクト基本構想の検討
 - ・阪神アートVRミュージアムの構築
- 2 自然・歴史・文化を生かしたまちづくり
 - ・ひょうご北摂スポーツサイクルの郷づくり
 - ・武庫川（宝来橋～宝塚大橋）周辺散策空間の整備
 - ・清和源氏発祥の地・多田神社周辺のまち並み整備
- 3 地域の魅力を生かした交流人口の拡大
 - ・県立有馬富士公園「新宮 晋 風のミュージアム」の魅力発信
 - ・ひょうご北摂・インバウンド方策の検討

重点目標 2 地域のブランド力が高まる「まち」の創出

都市(近郊)農業や北摂里山等の地域ブランドを生かした「まち」の活性化に取り組む。

- 1 ふれあいフェスティバル in 阪神北の開催
- 2 阪神アグリパーク構想の推進
 - ・阪神アグリ街道周遊プロジェクトの推進
 - ・阪神農家×事業者マッチングプロジェクトの推進
- 3 北摂里山博物館（地域まるごとミュージアム）構想の推進
 - ・北摂里山魅力づくり応援事業
 - ・里山資源を活用した環境学習の実施
 - ・ナラ枯れ対策の実施

重点目標 3 住み続けたくなる「まち」の創出

良好な住環境を生かした定住・移住の促進や暮らしやすさを実感できる「まち」の創出に取り組む。

- 1 「ひょうご北摂ライフ」の推進
 - ・「ひょうご北摂ライフ」魅力発信による移住・定住促進
 - ・「えきバスびじょん。」の作成
- 2 認知症の人や高齢者などにやさしいまちづくり
 - ・阪神北圏域 認知症の人や高齢者にやさしい社会づくり事業
 - ・フレイル対策普及推進事業
- 3 アグリライフ・シェアリング構想の展開
- 4 地元企業の人材確保等支援
 - ・阪神北起業・創業バックアップセミナー

令和2年度 東播磨県民局の重点目標

重点目標 1 人・もの・情報が交流し、にぎわう東播磨づくり

ものづくりをはじめとする様々な分野で、人・もの・情報の交流を促し、新たな知恵と活力を生み出し、魅力とにぎわいを生み出せる地域づくり

- 1 安全安心で快適性や利便性の高い社会が提供されるスマートシティの取組の推進
(最適な移動手段をシームレスに提供するMaaS、スマート農業、i-Construction等)
- 2 交流を促す基盤・拠点の整備と多彩なネットワークの構築
(明石港砂利揚げ場の再開発、東播磨道北工区の整備、国道2号(加古川市内)の4車線化等)
- 3 自転車の利用しやすい街づくり(シクロクロス大会の開催、安全な自転車利用環境の構築等)
- 4 国内外の東播磨ファンづくり(体験型観光、YouTube・コスプレの活用、地場製品の輸出支援等)
- 5 東播磨「農」のブランド化大作戦の推進(特産品のブランド力強化、消費者と生産者の交流等)

重点目標 2 水辺との心豊かな暮らしが思い出に残る東播磨づくり

豊かな水辺空間とその自然環境や歴史・文化を大切に守り、活かし、次世代に継承する取組を更に発展させる持続可能な地域づくりとふるさと意識の醸成

- 1 豊かな海の再生(全国豊かな海づくり大会に向けた取組の推進(海底耕耘、かいぼり等))
- 2 いなみ野ため池ミュージアム“オ池リンピック2020”の開催
(スポーツや遊びをテーマにしたため池リレー方式の交流促進イベント)
- 3 「ため池コウノトリプロジェクト」(生息環境整備や剥製を活用したコウノトリ講座の開設)
- 4 世界最先端の環境技術・取組の発信(生分解性プラの海洋プラ対策や地球温暖化対策等)
- 5 小学生等を対象としたものづくり・自然体験ツアーの実施
(魅力ある企業のものづくり体験、JR加古川線を貸し切り加古川を満喫する環境学習等)

重点目標 3 いきいきと暮らせる、安全安心な東播磨づくり

地域住民一人ひとりが自立し、健康に、安全安心を実感し、自分らしさと生きがいを持って、お互いを認め、高めあえる地域づくり

- 1 「東はりま発ヘルシーメニュー」の普及促進(地域の健康課題を踏まえた食の健康づくり)
- 2 「チャレンジショップきずな」の販売力強化による障害者の自立支援
- 3 ジュニア・地域防災スクールの開催と河川整備等による防災機能の向上

令和2年度 北播磨県民局の重点目標

重点目標 1 北播磨「農」と「食」の魅力づくりプロジェクト

日本一の酒米「山田錦」、若手生産者が創る「プラチナぶどう」、「黒田庄和牛」、「播州百日どり」、多彩な「巻き寿司」、ローストビーフ等の農産加工品など、北播磨のすばらしい「農」と「食」の魅力を広く発信する。また、その生産を支える担い手や産地に対して、品質向上や6次産業化による付加価値の向上等により経営の安定化を支援する。

- 1 北播磨「農」と「食」の魅力発信
- 2 北播磨特産農作物等育成促進事業
- 3 北播磨「農」「食」体験事業

重点目標 2 「北播磨」魅力体験ツーリズム等による交流人口・関係人口の拡大

北播磨の豊かで多彩な「農」と「食」、自然、歴史・文化、地域遺産、地場産業など、地域の魅力を体験するツアーの実施等を通じて、地域内外の参加者に北播磨の魅力を発信し、北播磨への理解を深め、交流人口や関係人口の拡大を図る。

- 1 北播磨魅力体験ツーリズム
- 2 北播磨サイクル&フットパス推進事業
- 3 北播磨交流施設魅力アップ事業

重点目標 3 「北播磨」人材増プロジェクト

若者による地域における創造的な活動の支援やふるさと情報の発信等により、ふるさと意識の醸成を図る。また、「農」と「食」の魅力づくりプロジェクトや魅力体験ツーリズムへの参加や参画を通じて、地域に誇りを持った「北播磨」を担う人材の育成、定着を進める。

- 1 高校生による北播磨創生チャレンジ事業
- 2 若者の北播磨企業への定着促進事業
- 3 北播磨「山田錦」語り部の養成

重点目標 4 いきいき暮らせる安全安心な「北播磨」の創出

豊かな自然、歴史・文化等に恵まれた環境のなか、住民、事業者、行政が力を合わせ、いきいきと暮らせる「北播磨」を創出するとともに、災害に対する防災意識の高揚や啓発、地域ぐるみの子育てや認知症カフェの立ち上げ支援によるまちづくり等、地域住民が安全安心に暮らせる「北播磨」を創出する。

- 1 北播磨圏域認知症対策事業
- 2 自主防災組織パワーアップ事業
- 3 北播磨「農村地域見守り隊」の育成支援

令和2年度 中播磨県民センターの重点目標

重点目標 1 思わず訪れたくなる中はりま

日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」の歴史的魅力を国内外に発信するとともに、東京オリンピック等国際イベントやスポーツイベントの開催を機に、滞在型・周遊型観光を推進し交流人口を拡大する。

- 1 日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」のストーリーの見える化や、馬車道設計者シスレーゆかりの国フランスとの交流人口増加を目指すとともに、周辺の魅力を含めた地域のブランド化に取り組む。
- 2 姫路城を訪れる外国人観光客が年々増加するなか、日本遺産をはじめとする中播磨の豊かな地域資源を活用し、更なる交流人口の拡大による活性化を図る。
- 3 白鷺サモイ、華姫さわらをはじめとする海の幸などの地域特産物のブランド化を図り、消費拡大や安定的な生産供給体制づくりを推進し、魅力と活力ある地域づくりに取り組む。

重点目標 2 若者・女性が活躍できる中はりま

若者の地元就職や女性の活躍を促進するとともに高校生・大学生等の意見を活かすなど、若者の県施策への参画を推進する。

- 1 企業と人材のマッチングや中小企業の認知度の向上、UJI ターンしやすい環境づくり等若者や女性の活躍の場の拡大等に取り組む。
- 2 日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」沿線の高校生による地域を巻き込んだ新たなプロジェクトの提案など高校生・大学生等の県施策等への参画を促進する。

重点目標 3 活気とにぎわいのある中はりま

姫路市文化コンベンションセンターや福崎駅前整備等を機に、中播磨地域の賑わいづくりを一層推進するとともに産学官連携による“ものづくり”企業の競争力向上、社会インフラの充実、農林水産業の活性化を図る。

- 1 播磨地域の中心である姫路市の新しい顔づくりのため、「姫路市都心部まちづくり構想」の推進に協力するとともに、姫路駅周辺整備を図る。
- 2 姫路港から「播磨の元気」を創出するため、物流・産業、交流、環境・防災に関する施策を推進するほか、クルーズ客船寄港時のおもてなし活動に協力するクルーズサポーター制度を創設する。
- 3 播磨臨海地域道路の早期実現を目指すほか、高速道路から生活道路にいたる道路網について、選択と集中により効率的・効果的な整備を進める。
- 4 中播磨地域に集積する産学官に係る資源の効果的な連携を図り、大学、企業との新たな技術交流の促進や雇用機会の創出を支援し、地域のものづくり力など一層の強化を図る。

重点目標 4 暮らしやすさ No.1 の中はりま

質の高い効果的な医療の提供や災害に強い社会基盤を整備する等、安全安心のまちづくりや、ふるさと意識や地域への愛着の醸成を推進する。

- 1 中播磨地域ビジョンの実現を図るため、幅広く県民と地域ビジョンを共有する取組を推進するとともに、2050年を展望する「新地域ビジョン」を来年度にかけて検討する。
- 2 県伝統文化研修館の活用や地域文化や郷土史等を次世代に伝える事業を実施する地域団体を支援し、子どもや若者のふるさと意識や地域への愛着の醸成に取り組む。
- 3 災害に強い基盤整備、利便性・安全性を高める道路整備を推進するとともに、災害時の医療情報の提供など、暮らしひとの安全と安心を確保する地域づくりを目指す。

令和2年度 西播磨県民局の重点目標

重点目標 1 歴史と伝統文化を生かした交流人口の拡大

山城や伝統文化体験など個性豊かな地域資源を生かした特色ある施策を展開し、西播磨の交流人口と観光消費の拡大を図り、賑わいを創出する。

- 1 西播磨山城モニターツアー（山城を目的地とする定期観光バス運行、通訳ガイドや在留外国人等のモニターツアー）
- 2 地域団体等の行う体験型メニューの開発支援（伝統文化等を活かした体験型メニューの開発を支援）
- 3 山城 ICT フル活用作戦（イラスト・CG作成及びアプリへの活用、ドローンを活用した空撮・動画作成等）
- 4 プレミアムガイド人材育成（ガイド養成講座の実施、ポータブル翻訳機導入支援）
- 5 西播磨山城の眺望復活大作戦（伐採による眺望の改善、登山道の草刈り等の地域活動への支援）
- 6 西播磨山城攻略拠点の整備（既存公園等を活用した駐車スペース確保、山城攻略拠点への案内標識等の設置）
- 7 西播磨山城・歴史的建築物等の発掘・発信（専門委員会による歴史的建築物の候補物件の選定）
- 8 「西播磨ブランド」の育成・創造支援
（土産物の開発、「ぶどう」など代表的な8つのフルーツをPRする西播磨フルーツ∞(エト)プロジェクトを展開）
- 9 西播磨フードセレクション2020（第9回。西播磨産農林水産物を使用した加工食品コンテスト、受賞食品のPR）

重点目標 2 フロンティア精神が生み出す持続可能な地域づくり

西播磨地域の人口増対策を推進するとともに、地域活性化に取り組む人材の育成や、農林業をはじめとする地域産業の振興を図り、若者が地域に根付き、住民一人ひとりが生き生きと暮らせる地域社会を構築する。

- 1 西播磨“結婚っていいな!”キャンペーン
（結婚応援企業の登録、縁結び推進員の委嘱、育児体験プログラムの実施、結婚情報サービス発行(季刊)等）
- 2 西播磨暮らしサポートセンターの運営等
（移住に係る電話相談・面談、移住相談会、大阪ふるさと暮らし情報センター出張相談、空き家見学ツアー等の実施）
- 3 西播磨就職フェア（大学生、高校生対象の合同企業説明会）
- 4 地域づくり活動応援事業（スポーツを通じた地域住民の交流を図る「スポーツ交流枠」を新設）
- 5 西播磨版スマート農業の推進（スマート農業推進協議会の設置、スマート営農技術・スマートため池管理技術の実証）
- 6 西播磨の企業力発信事業（管内の中小企業に対し、県内外で開催の大規模展示会等への初めての出展を支援）
- 7 西播磨木質バイオマス利用活動支援事業（「木の駅」の運営支援、化石燃料と薪などの価格差を支援）

重点目標 3 安全・安心な社会基盤整備

住民の暮らしを守り、将来の礎となる社会基盤を整備するとともに、住民が健やかに安心して暮らせる地域づくりを推進する。

- 1 播磨科学公園都市を核とした道路ネットワークづくり
（竜泉那波線、赤穂佐伯線、太子御津線茶ノ木踏切、揖龍南北幹線道路、中国自動車道姫路鳥取線(NEXCO 事業)等）
- 2 引原ダム再生事業（全体計画：堤体嵩上げ、放流設備の新設・改造、ダム周辺道路の付替。R2:測量、設計等）
- 3 西播磨ため池管理ランドマークの推進（農業用ため池の管理者を明記した看板設置）
- 4 外国人のための防災情報サイト事業（外国人のための多言語対応防災情報サイトを作成）
- 5 「大人の発達障害を考える西播磨県民フォーラム」の開催
（対象：発達障害のある人、その家族、障害福祉サービス事業者、障害者雇用の関係機関、学校関係者等）
- 6 高齢者のポリファーマシー等対策（薬局を利用する高齢患者を対象にアンケート調査、研修会の開催、普及啓発）
- 7 プラスチック対策の推進（海岸の清掃、プラスチック対策関連施設の見学、中小事業者向けセミナーの実施等）
- 8 西播磨地域カワウ対策推進事業（被害対策協議会の開催、技術向上講習会の実施、魚食害を防ぐ魚礁設置）

令和2年度 但馬県民局の重点目標

重点目標 1 あしたのふるさと但馬で交流する ～交流人口の拡大～

但馬内周遊観光の強化などの夢但馬周遊ツーリズムを推進するとともに、山陰海岸ジオパークや、鉾石の道等の日本遺産など但馬の地域資源を生かした取組と併せて、「但馬まるごと芸術の郷」の実現に向けた取組を進めることで、人口減少に伴う地域活力低下を補う「交流人口の拡大」を図る。

- 1 但馬を巡る周遊ツーリズムの推進
 - 夢但馬周遊ツーリズムの推進（但馬2大温泉地の魅力向上による誘客促進等）
 - 但馬サイクルツーリズムの推進（ルート案内標識の設置、サイクルスタンドの整備等）
 - 日本海マリン&リバーツーリズムの推進（岩ガキやワカメの収穫体験、川魚つかみどり等）
- 2 地域資源を生かした但馬の魅力醸成
 - 「但馬まるごと芸術の郷」の推進（豊岡演劇祭を契機とした周遊観光促進等）
 - 山陰海岸ジオパークの推進（トレイル設定記念事業の実施、キッズ列車コンサートの開催等）
 - 日本遺産を活用した地域の魅力づくりの推進（明延～神子畑間の新軌道整備検討調査、播但道・鉾石の道・ジオパーク共同観光カードラリーの実施等）
 - コウノトリ野生復帰の推進（コウノトリ未来・国際かいぎの開催）

重点目標 2 あしたのふるさと但馬で暮らす ～定住対策の推進～

但馬へのU・Iターン促進や産業活性化などの施策を総合的に推進するとともに、但馬産松葉ガニ、コウノトリ育む農法、但馬牛など但馬ブランド製品の育成強化などにより、但馬地域への関心を高め、就業・就農を促進することで、人口減少の進行を緩和する「定住対策の推進」を図る。

- 1 但馬で暮らそう大作戦の推進
 - 但馬U・Iターン400人大作戦の展開（移住体験オーダーメイドツアーの実施等）
 - 「但馬で働こう」大作戦の推進（産業フェアへの地元中高生などの見学促進等）
 - 産業活性化の推進（但馬企業の販路拡大支援、夢但馬産業フェア2020の開催等）
- 2 但馬で育む農林水産資源の展開
 - コウノトリ育む農法拡大総合対策の展開（多収品種の栽培体系確立に向けた技術実証ほの設置等）
 - 但馬牛の生産基盤強化対策の展開（日本農業遺産「但馬牛」副読本の作成、世界農業遺産認定の推進等）
 - 但馬水産王国再興の推進（但馬産松葉ガニブランドの確立、新規魚種の開発等）
- 3 但馬暮らしの質を高める地域づくりの推進
 - 但馬での学生グループ地域づくり活動の支援
 - “但馬はひとつ” 夢但馬の推進（「お菓子のふるさと但馬」魅力発信イベントの開催等）

重点目標 3 あしたのふるさと但馬を支える ～基盤づくりの推進～

但馬における健康長寿社会の実現に向けた医療・介護サービスの提供体制構築や防災・減災対策などを進めるとともに、但馬の骨格を成す基幹道路ネットワークの整備など安全・安心な「基盤づくりの推進」を図る。

- 1 安全・安心な但馬づくりの推進
 - 但馬圏域での地域医療構想の推進や精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの整備促進
 - 但馬地域における介護職の職場定着支援
 - 防災・減災対策の推進（ため池防災安全度の向上、防災サバイバル講座の開催等）
- 2 但馬の魅力を支える基盤整備の推進
 - 地域活性化の取組を支援するインフラ整備の推進（県道村岡竹野線 待避所設置等）
 - 清流の郷づくり大作戦の推進（魚道づくり体験や学習会の開催等）
 - 北近畿豊岡自動車道や山陰近畿自動車道など基幹道路ネットワークの整備推進

令和2年度 丹波県民局の重点目標

丹波の森づくりの推進

住民・事業者・行政が一体となり、「丹波の森宣言」をさらに実践していくこととする。
2030年には、交流・移住人口が増加し地元住民とともに活躍する、賑わいあふれる「オシャレな田舎 TAMBA」を実現するため、新たに①体験・滞在型ツーリズム、②農産物・特産物の新ブランド戦略、③地域課題解決型の起業支援・企業誘致に係る事業に重点的に取り組む。

重点目標 1 森を大切に守り育てます

1 丹波の里山づくりの促進

30年後を見据えたモデル活動団体を継続的に支援し、里山の魅力を地域全体に広く発信

2 源流の里の親水環境の整備（階段工や観察施設、魚道の設置）

3 先端技術等を活用したスマート農業の推進（ドローン活用によるピンポイント除草剤散布等）

重点目標 2 花と緑の美しい地域づくりを進めます

1 桜つつみ回廊の美観保全

長寿命化計画に基づき、てんぐす病罹患枝の剪定や土壌改善・施肥等の具体の対策を実施

2 たんば三街道主要ポイントの修景（シンボル標柱の改修、景観ビューポイントの整備）

重点目標 3 個性豊かな地域文化を育てます

1 恐竜化石フィールドミュージアムの推進

地域の玄関口（道の駅等）にエリアマップ看板とティラノベンチを設置。都市部での化石発掘体験会、剖出体験ツアーの開催。案内人（インタープリター）の養成。

2 WMG2021 関西記念「囲碁ボール」大会の開催

3 シューベルティアードたんば「ふるさと音楽ひろば」の開催

重点目標 4 安らぎと活力に満ちた地域づくりを進めます

1 移住・環流プロジェクト（県外での交流カフェ等）、女性による起業の促進（連続講座等）

2 空き家・廃校等を活用した“シリ丹バレー”の創出、地域再生活動の次世代への承継 遊休施設を活用した地域課題解決型の起業創出に向けたキックオフミーティング。地域活性化の活動ノウハウ等を、若手移住者や子育て世代等の次世代へ承継する小規模集落の取組支援

3 TAMBA ブランド農産物の国内外への魅力発信、「Hyogo Sake 85」のブランド育成 総合的な新ブランド戦略、将来構想の策定。丹波味覚フェア in 大阪、丹波栗フェア等の開催

4 明智光秀ゆかりの地の魅力発信（連続ラジオ番組や住民主体イベント等の支援）

5 体験・滞在型ツーリズムの促進（農家民宿等の開設支援、インバウンド向けモトリングツアーの実施）

6 サイクリング環境の整備（「兵庫丹波チャレンジ200」ツアー、安全対策や拠点・支援施設の整備）

7 地域防災力の充実強化（自主防災組織と関係機関の連携研修、大災害からの教訓の伝承）

令和2年度 淡路県民局の重点目標

重点目標 1 訪れたいくなる島づくり

淡路島の多様な観光資源を活かし、世界中の人々が何度も訪れたいくなる淡路島を実現する。

- 1 観光情報デジタルプロモーションの推進
- 2 自家用車なしで巡る公共交通網の構築、Ma a Sの導入推進
- 3 「美食の島」あわじの実現
- 4 淡路島一周サイクリングルート「アワイチ」の魅力アップの推進

重点目標 2 住みたいくなる島づくり

ふるさと淡路島の魅力を発信し、淡路島の定着人口の増加を目指す。

- 1 「鳴門海峡の渦潮」世界遺産登録に向けた取組の推進
- 2 淡路人形浄瑠璃の魅力発信
- 3 都市住民の転入促進

重点目標 3 すこやかに暮らせる島づくり

人と人、人と自然のつながりを大切にした健康で豊かな暮らしを目指す。

- 1 生涯現役！あわじ健康長寿の島づくり
- 2 あわじ環境未来島構想の推進

重点目標 4 島を支える産業の振興

先端技術の導入等により農畜水産業の生産性を高めるとともに、淡路瓦や線香等の地場製品の国内外での販路拡大を支援する。

- 1 スマート農業の導入促進
- 2 北淡路先端ファームの形成
- 3 地域産業の海外戦略の推進

重点目標 5 安全・安心な島づくり

南海トラフ地震への備えや、治山・治水対策など安全・安心な島づくりを総合的に推進する。

- 1 津波防災インフラ整備計画の推進
- 2 特定ため池の安全対策の推進